

2011年度 日本液晶学会 第5回理事会 (HP公開用)

日時：2011年11月12日(土) 13:00~17:50

場所：日本液晶学会事務局(株)アドスリー内会議室

出席：檜山爲次郎、中村尚武、清水洋、小野浩司、藤掛英夫、井上勝、松山明彦、宮下哲哉、
岸川圭希、安武幹雄、城田幸一郎、小村真一、内海夕香、真崎仁詩、岡田裕之

欠席：沓水祥一、一ノ瀬秀男

オブザーバー：福田幹夫、諸星宗一((株)アドスリー,事務局)

総務委員会

報告および審議事項

[報告事項]

1. 2011年第3回理事会議事録(HP公開用)(承認)
2. 2011年第4回理事会議事録(HP公開用)(承認)
3. 2011年度 総会議事録(HP公開用)(承認)
4. メール審議
 - 1) 第6回：2012年新学会見直し予算 (承認)

[審議事項]

1. 法人化の取り組み
 - 日本液晶学会定款の最終版(承認)
 - 代議員選任規定の最終版(承認)
 - 定款・代議員改定メモ
 - 役員選任規定案(一部改定で承認)
 - 役員選任規定改定メモ
 - 法律事務所委託契約書(承認)
 - 法人登記スケジュール(承認)
 - 法人印鑑価格表(承認)
 - 法人印章案(承認)
 - 国際活動資産運用規則案(一部改定で承認)
2. その他
 - 1) セミコン出展対応(承認)
 - 2) 12月 設立社員総会の議事(承認)およびスケジュール
 - 3) 2012年1月 新学会第1回理事会のスケジュール

財務委員会

報告および審議事項

[報告事項]

特になし

[審議事項]

1. 2012 年度予算

新学会設立による会計年度の変更に伴う、第3回理事会で承認された2012年度予算、名称及び期間の変更について、とを承認した。

名称及び期間

従来) 2012年1月～6月: 2012年度予算

新) 2011年12月～2012年6月: 新学会2011年度(設立年度)予算

その後は:

2012年7月～2013年6月: 新学会2012年度予算

2013年7月～2014年6月: 2013年度予算

新学会2012年度予算

編集委員会

報告および審議事項

[報告事項]

会誌進歩状況

1. 10月号

(巻頭言1, 総説1, 解説4, 講座1, 研究室紹介1, 学会報告:2)

2. 1月号

(巻頭言1(次期会長), 総説2, 解説4, 講座1, 研究室紹介1, 学会報告2, 日本液晶学会名誉会員と日本液晶学会賞の紹介記事)

3. 4月号・・学会賞受賞記念特集号

(巻頭言1, 総説3, 解説3, 講座0, 研究室紹介1, 学会報告1),

4. 7月号

(編集担当者と役割の決定, 記事調整中)

[審議事項]

学会誌別刷のPDFファイルでの販売について(継続審議)

情報委員会

報告および審議事項

[報告事項]

1. フォーラム掲示板の運用開始

フォーラムから要望の出ているWeb掲示板を設置し、10月11日から運用を開始した。今後、会員からのフォーラム講演会の演題募集などに活用していただきたい。

[審議事項]

1. J-STAGE2 終了に伴う液討受付システムの代替について（承認）

液討受付に利用している J-STAGE2 が終了するため、代替受付システムを検討した。受付業務をアドスリー社にお願いしたい。

行事委員会

報告および審議事項

[報告事項]

1. 2011 年日本液晶学会討論会（資料 2011-011-5-8）

1) 日時場所：2011 年 9 月 11～13 日、東京都市大学世田谷キャンパス

2) 発表件数：口頭 88 件(内 6 件企業セッション、1 件特別講演)・
ポスター 124 件

3) 討論会参加者 363 名(内事前登録 240 名(企業 52 名))

2. 2011 年日本液晶学会講演会（資料 2011-011-5-8）

3. 2011 年日本液晶学会講演会・討論会参加者収支報告(暫定版)（資料 2011-011-5-8）

4. 2011 年日本液晶学会サマースクール（資料 2011-011-5-8）

1) 日時・場所・参加費・募集定員・委員

・ 7 月 14～16 日、晴海グランドホテル

・ 参加費：例年通り（但し、学生非会員：25,000 円）

・ 参加予定人数：申込 50 名（講師含めて、56 名、内訳：一般 29 名
（会員 21 名、非会員 8 名）学生 17 名（会員 12 名、非会員 5 名）講師・実行委員は 10 名）

・ 内容・スケジュールの報告

・ WG 委員（敬称略）：石川（東工大）井上（東陽テクニカ）尾崎（防衛大）、菊池（九大）、
木村（長岡技大）沓水（岐阜大）西山（DIC）安武（埼玉大）、岸川（千葉大=校長・
実行委員長）

2) サマースクールの日程：ほぼ昨年のスケジュールを踏襲。夜に新企画を入れた。

3) サマースクール会計報告（資料 2011-03-6-3）

収入合計 1,895,000 円

支出合計 1,867,319 円

収支差額 27,681 円（黒字）

4) アンケート報告：（資料 2011-011-5-8）

場所の希望：都心希望 50%、観光地希望 19%、どちらでも良い 31%

施設への希望（自由記述）：

- ・ネガティブな意見「ホテルの1室に3名で狭かった」「ユニットバスが狭い」「大浴場がほしかった」
- ・ポジティブな意見「相部屋の3名での交流を楽しめて良かった」

新企画の「何でも講演会」は、遅い時間にもかかわらず、ほとんどが参加して非常に好評であった。

「ホットな講演会」のプリンタブルエレクトロニクスも好評であった。

夜遅くまでやったことについては、賛否両論であるが、概ね好評であった。

このサマースクールに満足したか：36名中「はい」35名、「いいえ」1名（満足度97%）

5. 2012年日本液晶学会講演会・討論会（資料2011-011-5-8）

日時：2012年9月4日（火）～7日（金）

場所：千葉大学西千葉キャンパス（〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33）

現地実行委員：幸本重男（千葉大学）、岸川圭希（千葉大学）、高橋正洋（千葉大学）

施設：普遍総合校舎（別紙2参照）

A会場：B教室（480）、B会場：C11教室（223）、C会場-：C12教室（223）

ポスター会場：F21(90)、F22(90)、D21(88)、D22(84)

本部・クローク：F11(90)、受付：F12(90)、

会議室：F31(80)、F32(90)、F41(90)

レストラン：コルザ（席数83）

会員委員会

報告および審議事項

[報告事項]

1. 会員数の確定（2011年8月31日現在）

[審議事項]

1. 入退会者の承認について（承認）

2. その他

- ・2012年のFPD Internationalへのブース出展は、会員担当理事にご一任いただく(承認)。
- ・2012年度の学会費納入依頼において、学生会員あてに、卒業に際して正会員への切換えを依頼する書面を添付する(承認)。
- ・法人化に合わせ、学会の案内パンフを改訂する。会員担当理事が担当する(承認)。

研究委員会

報告および審議事項

[報告事項]

- (1) 液晶フォトニクス・光デバイス研究フォーラム 開催内容

日時：2011年10月28日（金）

場所：株式会社東陽テクニカ本社8F 第1セミナー室（東京八重洲）

<http://www.toyo.co.jp/company/access.html>

プログラム

12:30 ~ 受付開始

13:00 ~ 13:10 開会 (趣旨説明)

13:10 ~ 13:50 「サブ波長構造による高性能反射防止膜 “SWC”」

奥野丈晴 (キヤノン株式会社光学技術統括開発センター)

13:50 ~ 14:30 「高分子よる液晶複合体の構造形成と配向制御」

川上玲美 (株) 旭硝子中央研究所)

14:30 ~ 15:10 「自己組織化によるチューナブル液晶レーザー」

古海誓一 (物質・材料研究機構)

15:30 ~ 16:10 「液晶光学素子と光学機器への応用」

橋本信幸・栗原誠 (シチズンホールディングス (株) 開発部光応用技術開発課)

16:10 ~ 16:50 「ナノ粒子分散した液晶の電気光学特性」

吉田浩之・川本晃祐・田中悠真・井上健太・藪修平・藤井彰彦・尾崎雅則

(大阪大学大学院工学研究科)

16:50 ~ 17:00 閉会

17:30 ~ 懇親会(希望者実費)

(2) 液晶化学・材料研究フォーラム 開催内容

化学・材料フォーラムは、「無機・ナノ材料・液晶とのコラボレーション」を主題とした講演会を開催する。液晶性と様々な無機材料やナノ材料が織りなす多彩な構造や機能のご講演を講師の先生方より頂き、今後の新規材料創出に係る有用な階層構造構築の自由な討論を行う予定である。

日時 2011年11月22日 13:30 ~ 17:00 (懇親会 17:10 ~ 18:30)

場所 名古屋大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリ(VBL)3階

ベンチャーホール(名古屋市千種区不老町)

名古屋市営地下鉄名城線「名古屋大学駅」下車(3番出口5分)

1. 13:30 ~ 13:40 開会 (趣旨説明)

2. 13:40 ~ 14:10 溝下倫大・谷孝夫・稲垣伸二 (豊田中央研究所・JST-CREST)

「光・電子機能性骨格を有するメソ構造有機シリカの構築」

3. 14:10 ~ 14:40 山本貴広 (独) 産業技術総合研究所ナノシステム研究部門)

「コロイド/液晶複合系におけるマイクロ構造と物性の光変調」

4. 14:40 ~ 15:30 中戸晃之 (九州工業大学大学院工学研究科)

「無機ナノシート液晶の創製と展開」

5. 15:40 ~ 16:30 関 隆広 (名古屋大学大学院工学研究科)

「有機-無機ハイブリッド構造の光制御」

6. 16:30～17:00 西村達也・加藤隆史（東京大学大学院工学研究科）

「高分子液晶テンプレートによる有機／無機複合材料の開発および配向制御」

交流会（17:10～18:30）

(3) 液晶物理・物性研究フォーラム 開催内容

日本液晶学会 物理・物性フォーラム講演会 2011

“キラルスメクチック液晶の物性と構造を再考する”

1975年にMeyerによってキラルスメクチック液晶より強誘電性が発見されて35年が経過した。その後の反強誘電性、フェリ誘電性の発見から液晶構造のバラエティが増しているが、その発現機構はまだ議論半ばであり、さらに最近では新規な光学的な等方相も出現するなど、液晶研究対象としてキラルスメクチック液晶の興味は未だ衰えを知らない。

そこで今一度この分野の第一人者の方々をお招きして話題提供を頂き、深く議論することで現状の理解と今後の課題について再考・認識したくこの講演会を企画した。特に今回はこれまでの講演会と異なり、議論の時間を十分設けて、普段もう少し質問時間があれば聞けたのに聞けなかったと言うことのないよう、配慮した。

日時：2011年11月18日（金）

場所：DIC本社・17階会議室

（〒103-8233 東京都中央区日本橋3-7-20）

参加費：正会員：3,000円，非会員：5,000円，学生：500円

【プログラム】

13:30～13:40 趣旨説明

13:40～14:40 福田 敦夫（University of Dublin）

「強・反強誘電性のフラストレーションと超構造」

14:40～15:40 吉澤 篤（弘前大学）

「液晶オリゴマーによるフェリ誘電性相の安定化」

15:40～15:55 休憩

15:55～16:55 西山 伊佐（DIC株式会社）

「キラルな液晶の超構造：層構造と共連結構造の競合」

16:55～17:55 飯田 厚夫（高エネルギー加速器研究機構）

「共鳴X線散乱によるキラル液晶超格子構造解析の現状」

(4) セミコンジャパン 開催内容

日時：平成23年12月9日（金）13:30-16:20

セッションタイトル：日本液晶学会特別シンポジウム - 「液晶」が夢見る最先端技術

13:30-14:10 飯野 裕明、半那 純一（東京工業大学像情報工学研究所）

- 「液晶性を利用した有機半導体薄膜の作製とそのトランジスタ応用」
14:10-14:50 尾崎 雅則 (大阪大学大学院工学研究科)
「液晶性を生かした有機薄膜太陽電池」
15:00-15:40 穴戸 厚 (東京工業大学資源化学研究所)
「光応答性液晶を利用した書き換え型ホログラム」
15:40-16:20 菊池 裕嗣 (九州大学先端物質化学研究所)
「高分子安定化ブルー相の次世代液晶ディスプレイへの応用」

(5) 2011 年度日本液晶学会・全研究フォーラム合同講演会
「液晶基礎講座 -液晶の合成とキャラクタリゼーション-」

本年度も全フォーラム合同講演会として「液晶基礎講座」を企画した。今回は、液晶の研究・開発を始める研究者たちが、実際に液晶材料の合成およびキャラクタリゼーションをどのように研究していくのか、まさに基礎講座として液晶合成、偏光顕微鏡観察、熱物性測定、X線回折測定について、各分野にて著名な先生方をお招きして基本から最新の話まで教授いただく予定である。液晶研究の最も基礎的かつ重要な手法を原理から学べるので、最近液晶を始めた学生や社会人の方々はもちろんのこと、わかったようでわかっていないことを勉強したい方にとっても、基本に戻る良い機会である。特に、学生の方々は無料で受講できるので、大学の先生方に所属している学生の方に積極的にご推薦いただく予定である。

日時 2011 年 12 月 13 日 13:00 ~ 17:30 (懇親会 17:30 ~)

場所 株式会社東陽テクニカ・TI センター セミナー室 (東京)

<http://www.toyo.co.jp/company/access.html>

講師：「液晶材料の合成法」 檜山 為次郎 先生(中央大研究開発機構)

「液晶の熱分析(仮)」 齋藤 一弥 先生(筑波大院数物)

「偏光顕微鏡による液晶の組織観察」 石川 謙 先生(東工大院理工)

「液晶相の X 線構造解析法」 太田 和親 先生(信大院総工系)

講演会参加費：正会員 ¥2000 非会員 ¥5000 学生 無料

[審議事項]

(1) セミコンジャパンでの講師謝礼、交通費の支給 (承認)

セミコンジャパンでは、原則として講師謝礼、交通費を支払いしていない。日本液晶学会として依頼している講演となり、他のフォーラム講演会等と比較して対応に差が生じないように、講師謝礼と交通費支給をする。